

新飯能

発行 党
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし子
973-4710み
新井たかく
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

ストップ! 貧困、9条守れ

大宮駅に7000人 志位和夫委員長が訴え



日本共産党の志位和夫委員長は十七日、さいたま市大宮駅西口で小雨のなか、集まった七千人の聴衆を前に、「たしかな野党」の前進で、行き詰まった自・公政治の暴走を食い止めようと訴えました。

自公政権の暴走をきびしく告発しながら、それと正面から立ち向かう「たしかな野党」・日本共産党の役割と値打ちを強調しました。

ストップ貧困・緊急福祉一兆円プラン

年金問題では、当面の対策として、「一億人への年金記録の送付」など道理ある提案が政府を動かしてきていること。抜本的な対策として、年金受給資格を二五年から一〇年にするこや最低保障年金制度など党の年金制度改革の提案を紹介しました。

また、増税と負担増、社会保障の相次ぐ切り捨てで、「ワーキングプア」「ネットカフェ難民」「介護・医療難民」などという言葉が生まれるほど貧困が広がっていることを告発。日本共産党が提唱している「ストップ貧困・緊急福祉一兆円プラン」を紹介しました。国保税引き下げ、介護

保険料・利用料の値下げ、子どもの医療費無料化を国の制度に、障害者自立支援法による応益負担の撤回などどれも草の根の運動の要求であり、進んだ自治体では実現しているもの。「自治体でできるものが、国でできない道理はありません」という志位委員長の訴えに大きな拍手がわきました。志位委員長は、最後に、「一兆円というと莫大な予算のように感じるかもしれないが、アメリカ軍のグアム移転に三兆円、大企業の減税に五兆円など出せる予算を福祉に回

中越沖地震に救援募金を

飯能市委員会が街頭から呼びかけ



新潟県中越沖地震は新潟、長野県を中心に大きな被害をもたらしました。

日本共産党飯能市委員会は十八、十九日、飯能駅で、

飯能駅で、なくなった方や家屋などに大きな被害を受けた方など被災者をお見舞いする救援募金に取り組みました。買い物帰りのお年寄りや主婦、勤め帰りのサラリー

せば十分にできることだ」と訴え、「そうだ」の声が飛びました。

日本共産党街頭演説

日本共産党の前進で、政治を変えよう!

7月23日(月)

午後6時~

所沢駅西口

お話 市田忠義 書記局長

7月25日(水)

午後3時45分~4時05分

飯能市・まるひろ前

*飯能市で最後の訴えとなります。

多くのおみなさんのご参加をお待ちしています。

波 紋

例えば片側歩道のところでは、公営掲示板は車道にむけてたてられていることになっていないのでしょうか。それとも歩道にむけて歩行者から見えるようにたてるものなのでしょいか。そんなことはいちいち考えてたら日が暮れちゃうよ。たてればいいんだよという答えが返って来そうですが、そんなことを考えていたら、また新潟で地震です。驚いたのは柏崎刈羽原発の火災です。約二時間原発から黒煙や火の手があがるのを見ているのは、異様で恐ろしい光景でした。北朝鮮のミサイルどころの話ではないと思っただ人も多かったです。たではないでしょうか。火災がなかなか鎮火しないのも、消防車を待っているからだと聞いて、それってホントと耳を疑ってしまいました。▼そんなことも想定しないで、原発が稼働している日本は恐ろしい国です。刈羽原発の下に活断層があるのもわかっていたらしいとなると、黒煙を吹き上げる原発が今の政治のデータラメぶりを象徴しているようにも思えました。原発と同じように自・公の欠陥政治もストップさせなければなりません。

消費税

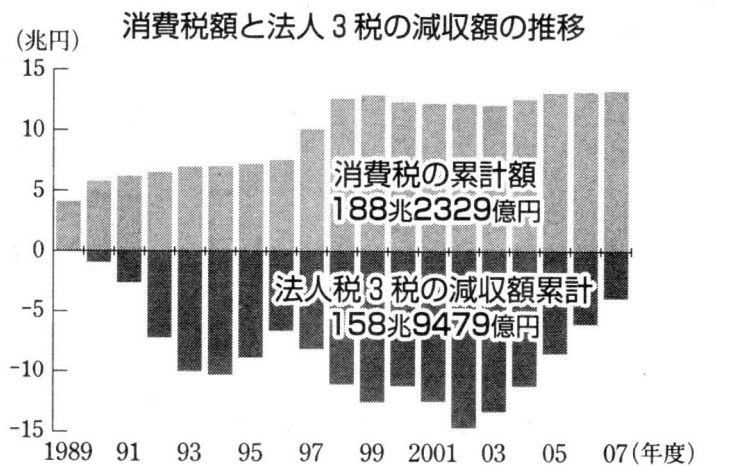
を問う

消費税増税の是非が大きな争点になっています。

安倍首相は「消費税を上げないなんて一言も言っていない」（五日、民放テレビ）と表明。安倍自民・公明政権が六月に閣議決定した「骨太の方針2007」で打ち出した

〇七年秋以降、税制「改革」の本格的な議論を行い、〇七年度をめどに「消費税を含む税法系の抜本的改革を実現する」

「（今秋に税制「改革」の）答えを出すということとは、法案も出すことになるのが常識だ」（六日の記者会見）として、来年一月の通常国会に消費



税収はどこへ消えた？

税率引き上げ関連法案を提出する可能性を示唆しました。

この税金はどこへ消えたのでしょうか。社会保障は改悪に次ぐ改悪でした。

今後の消費税率引き上げに最も熱心なのも財界です。

「骨太の方針2007」が、その理由とされています。

「福祉」を口実に

しかし、「福祉のため」というのは、ごまかし。消費税は一九八九年四月に3%で導入されました。その時の口実も「福祉のため」でした。消費税は九七年四月に5%に引き上げられ、今日に至っています。八九年の導入から〇七年度までの消費税による税収は国と地方をあわせて累計で約百八十八兆円にの

大企業減税狙う

もともと、財界は法人税の減税を求め、その財



最悪の不公平税

消費税は買い物のたびにかかる税金です、所得が低い者ほど負担が重くなります。日本共産党は「最悪の不公平税制」消費税の増税にきつぱり反対します（参院選政策）とし、税金のムダ遣いにメスをいれ、大企業・大資産家に応分の負担を求

税を財源にして、企業減税をするという考え方で

飯能市議会でも

消費税についても、〇五年総選挙では年金目的消費税とし3%引き上げすることを主張し、いまは「消費税率は現行のまま」（参院選の政権公約）。ただ、「（消費税は）将来は上げる可能性は十分ある」（鳩山由紀夫幹事長、六月二十五日の講演、「読売」同二十六日付）とまったく腰がさだまりません。

雨が降るたび道路は池に

早期の舗装を申し入れ

笠縫360番地周辺の住民から「区画整理で移転したが雨が降ると道路は池になり車が通れば泥のシャワーでドロドロになって困っています。関係する住民で、以前、設置したマンホールもあるので、ぜひ舗装して欲しい」との声が共産党の菅間宅に寄せられ、早速、滝沢市議と共に区画整理事務所に住民の切実な願いを届けました。

党飯能市議団は、6月市議会に消費税の増税に反対する意見書を国に上げるよう提案しました。しかし、保守会派は消費税増税は必要。公明党は、「まだ提案されていないから意見書を出す必要はない」。民主党は、「引き上げはやむを得ない。むしろ引き上げの時期を延ばし過ぎている」などとして、わが党が提出した意見書案に反対しました。

市の答弁は「区画整理事務所としても、道路分のすべてが、まだ家屋移転がされていないが、実情はよく分かるので住民の方々の協力も得て、皆さんの願いに早急に答えて行きたい」との返事。この事を一軒、一軒の住民にお知らせしたところ、玄関から人々が出てきて「ぜひ早くお願いしたい！」と切実な声が聞かれました。すでに三度の交渉を行っていますが、早々に、住民の願いに市は応えていただきたいものです。（普問）